

平成 16 年度 春期 テクニカルエンジニア（システム管理） 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問 1

設問 1

(1) a - 100 b - 250 c - 350 d - 1,750

(2) 案 - C

対策効果 - C 案の対策効果は年間 750 千円であることを、適切に説明していること。

設問 2 0.9995

設問 3

(1) D 案では業務のピーク日の応答時間悪化が起きないことを、適切に説明していること。

(2) LB 自身の障害を想定し、LB の冗長化構成の対策検討が必要であることについて、指摘していること。

問 2

設問 1 移行用ファイルから商品 DB と注文 DB を生成する処理を行うなど、稼働確認で更新された DB の復旧について、適切に説明していること。

設問 2 本番バッチ処理の対象から新店舗の運用訓練で入力したデータを除くことを、適切に説明していること。

設問 3

(1) 本部からの DB 変更データの入力を、現行注文システムと新注文システムの両方に対して行う必要性について、記述していること。

(2) 現行注文システムに入力された現店舗 B 群のデータを、新注文システムに取り込む機能が必要であることについて、記述していること。

問 3

設問 1

(1) 70 (2) 20 (3) 60

設問 2

(1) 否

根拠 - ピーク時の予測利用率が A 社の性能管理基準に照らして問題ないことを、適切に説明していること。

(2) 1 台減とする。

根拠 - 磁気ディスク装置を 1 台減とした場合でも、端末が設定可能であること及びピーク時の予測利用率が A 社の性能管理基準に照らして問題ないことを、適切に説明していること。

設問 3

(1) ア, ウ

(2) CPU の機種更新による運用停止と、年間スケジュールとの整合について、適切に説明していること。

* *

問 4

設問 1

(1) バージョンアップ版の適用開始日が PC のシステム日付以前であるかなど日付の順序関係について、適切に説明していること。

(2) プログラム配布の運用性、効率性、正確性の向上について、適切に説明していること。

設問 2

(1) ダウンロード時間帯を設定して、業務との重なりを避けるなど、トラフィックの集中を避けるための運用ルールについて、適切に説明していること。

(2) PC の型式判定と判定結果に基づく圧縮・伸張機能の適用について、適切に説明していること。

設問 3

理由 - バージョンアップ前の営業支援プログラムがないことを、指摘していること。

対策 - プログラムのバージョンを世代で管理することを、説明していること。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。